

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	健康推進・がん対策推進事業			事業番号	011-187
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療推進 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
			有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進		
			有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	健康さかい2 1（第2次）		
3	事業開始年度	平成 20 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	健康増進法、堺市がん対策推進条例		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区（保健センター）
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市民【がん検診の対象者は、20歳以上の女性（20.8万人）、40歳以上の男性（9万人）】
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	がんについて疾患の理解とがん検診の必要性を理解し、自発的に予防行動が取れ、定期的に検診を受ける市民を増やす
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	・普及啓発：受診案内の送付、各区保健センターの保健師等が地域へ出向き、がんに対する健康教育を実施するなど啓発、NPO法人や患者団体と連携した啓発活動（地域に出向いて健康教育やイベント時の啓発活動） ・がん検診の不定期受診者を対象に、受診勧奨のハガキを送付した後で、がん検診総合相談センターによる架電を行うコール・リコール事業を実施する。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	株式会社NTTマーケティングアクトほか
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	令和元年度	令和2年度	目標	目標
				令和3年度	点検年度		
				令和7年度			
	受診率	%	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0
・目標値は職域受診含む（国の目標）		実績値	15.5	14.0			
・実績値は本市検診の受診のみ		達成率	31%	28%			
	当該指標を選定した理由	がん検診受診率を増加させることで、市民の健康の保持増進を図るため。 なお、令和2年度の受診率は集計中。					
	目標値の設定根拠・算出方法	受診者数／対象者数					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	令和元年度	令和2年度	目標	
				令和3年度			
				令和7年度			
	コール・リコール実施件数	人	目標値	43,750	43,750	10,000	
		実績値	54,279	49,018			
		達成率	124%	112%			
	当該指標を選定した理由	定期的な検診受診者を増加させるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和3年度より、リコール（架電勧奨）件数を、費用をかけずに業者提案とする手法に見直したため目標値は減。					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	健康推進・がん対策推進事業	事業番号	011-187
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

（単位：千円）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	66,553	67,461	67,667	59,901	57,006
13 財源内訳					
国支出金	4,724	3,473	10,888	5,694	17,534
府支出金					
市債					
その他（堺市民健康生きがいづくり基金）			500		500
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	61,829	63,988	56,279	54,207	38,972
14 人件費 (b)	3,960	3,920	4,280	4,280	4,280
15 年間経費(c)=(a)+(b)	70,513	71,381	71,947	64,181	61,286

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源
		決算	予算				決算	予算	
16 事業費内訳	R2	決算	61	61	通信運搬費(枠)	決算	1,619	753	
		予算	245	245		予算	3,584	919	
	R3	決算	11	11	受診勧奨通知電算事後処理業務	決算	13,299	10,703	
		予算	117	117		予算	8,621	625	
	R2	決算	4	4	がん検診総合相談センター委託料	決算	36,591	34,359	
		予算	66	66		予算	36,500	29,627	
R3	決算	312	312	委託料	決算	7,427	7,427		
	予算	344	344		予算	6,945	6,445		
R2	決算	373	373	その他(筆耕翻訳料、使用料及び賃借料ほか)	決算	204	204		
	予算	489	489		予算	95	95		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① コール・リコール実施件数	人	54,279	49,018
② 上記①にかかる年間経費	千円	13,010	12,801
③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	240	261
備考(算出についての説明等) 見積書よりコール(ハガキ勧奨)・リコール(架電勧奨)にかかる費用を算出			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言の発出により、令和2年4月13日～5月21日の検診実施の見合わせを行った。また、市民の検診受診控えも影響し、令和2年度の受診者数は減少した。

がん検診総合相談センターを活用したコール・リコールの実施による不定期受診者への受診勧奨や、がん検診無償化の啓発に取り組んでおり、事業の目的を達成している。

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 がん検診の受診勧奨や啓発の実施により、市民が定期的ながん検診を受診することで、がんの早期発見・早期治療につなげることが可能となる。今後もわかりやすい受診案内の作成やがん検診等も含めた市の各種検診の周知啓発を行い、健康の保持増進に寄与するよう取り組む。